

議長記者会見（第48回）会見録

日時：令和5年12月19日（火）

午後2時15分から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室

会見を行う焼田議長（右）と平蔵副議長（左）



それでは、今定例会を終えて、所感を少し述べさせていただきます。

最初に、10月14日から11月26日まで44日間にわたり、県内各地で開催されました、いしかわ百万石文化祭2023についてであります。

10月15日の開会式では、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、文化絢爛のキャッチフレーズのもと、藩政期から脈々と受け継がれてきた伝統工芸や伝統文化のほか、豊かな自然や食文化、祭りや温泉などのイベント等が開催され、石川県がまさに文化一色に染まりました。今後とも、石川県が持つ多彩な伝統文化が継承され、磨き上げられていくことを大いに期待するものであります。

次に、北陸新幹線の県内全線開業についてであります。

金沢・敦賀間の線路などの施設の安全性を確認する走行試験が完了するなど、来年3月16日の県内全線開業に向けて、着々と準備が進められているところであります。停車駅については、「かがやき」が小松駅、加賀温泉駅に2往復ずつ停車することとなっており、今年9日には、加賀市において、カウントダウンフォーラムが開催されるなど、県内の各所で全線開業を祝うイベントが開催されているほか、2月3日・4日の両日には、金沢・敦賀間の一般向け試乗会が予定されるなど、議会としても、開業に向けた機運を盛り上げていきたいと考えています。

次に、今定例会を振り返ってであります。

今ほどもお話ししました、北陸新幹線県内全線開業関連では、開業後の地域交通の利便性の確保に関することや、小松空港や金沢港等の広域交通拠点の更なる活用など、交通政策について多数の質問がありました。

また、流域治水対策、生活再建支援、消防団員の確保など、防災・減災対策に関連して、活発な論戦が繰り広げられました。また、11月12日には、能登町において、9年ぶりに中部ブロックの緊急消防訓練隊と合同で、本番さながらの防災総合訓練も実施したところであり、議会としても、執行部とともに、被災地の復旧・復興に向けて、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

ほかにも、賃上げ・物価高騰対策や、旧都ホテルや旧日本銀行跡地に関するもの、EBPM（イービーピーエム）の推進に関すること、発達障害児の支援強化についてなど、多岐にわたり議論がなされました。

※EBPM＝エビデンス（証拠）に基づく政策立案

執行部においては、今定例会での議員からの質問の趣旨を踏まえた上で、今後の施策の実行や予算へ反映していただくとともに、県議会としても、引き続き、防災・減災対策をはじめとした様々な施策が、機を逸することなく実行できるよう、県民の安全と安心な生活に向けて、全力で取り組んでいきたいと考えております。

また、今定例会では、多くの議員から、馳知事の五輪招致における機密費発言についての質疑に加え、再質問も数多く行われました。知事からは、今回の発言に対して、議員や県民に対するお詫びの答弁もなされたところですが、知事には、これまで以上に、より丁寧な対応を望んでいるところです。

また、今定例会中に可決された意見書についてであります。 「意見書等調整会議」におきまして、調整等された結果、各党派から提案のあった10件の意見書のうち、「子供たちの学びの更なる充実を求める意見書」など4件が可決されました。

可決された意見書4件については、議会としていずれも国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出することとしております。

次に、今年を振り返ってであります。

5月8日、国が、新型コロナウイルス感染症の位置づけを季節性インフルエンザと同じである第5類に変更しました。これにより、日常生活がコロナ禍前に戻ることができる大きな契機となりました。現在、本県においても、国内外からの観光客で賑わうなど、以前の状況に戻りつつあります。

今年も、県内で地震や大雨による自然災害が発生し、甚大な被害がもたらされました。私自身が議長に就任して間もない5月5日、平蔵副議長の地元である珠洲市を震源とし、震度6強を観測した「令和5年奥能登地震」が発生し、この地震により、大きな被害がもたらされました。

また、7月12日から13日にかけて、私の地元である河北郡市を中心に発生した線状降水帯がもたらした大雨により、河川の氾濫や浸水などが発生し、甚大な被害がもたらされました。あれから、5カ月余りが経過しようとしております。

今なお、復旧工事や改良工事が進められており、工事が迅速かつ適確に執行されるよう、しっかりと取り組んでいただきたいと考えております。

最後に、県内スポーツ関係者の活躍についてであります。大リーグの大谷翔平選手が、スポーツ選手史上最高額でドジャースに移籍が決まるなど、スポーツ界全体が、大きく盛り上がる中、本県スポーツ界も目覚ましい活躍がありました。

先月末に明治神宮野球大会で、星稜高校野球部が32年ぶり3回目の優勝を成し遂げたほか、角界においても、大の里関が先月の九州場所において、2場所連続の12勝を挙げる活躍をみせたところであり、幕内昇進に期待がかかるところです。また、来場所の新十両昇進が決まった欧勝海関、私の地元出身の二人の活躍にも大いに期待しています。

また、21日から、レスリングの天皇杯全日本選手権が始まります。パリ五輪の出場をかけてですね、川井友香子選手が出場されますが、何とか連続出場の夢が叶えられればというふうに思っております。

私からは、以上であります。

<質疑応答>

記者

知事の機密費発言の関係で、より丁寧な対応をというお話がありましたが、今定例会での質疑をご覧になって、知事の答弁姿勢について、議長自身どのように感じておられますでしょうか。

焼田議長

そうですね。やはり一度発言したことは、なかなか撤回と言っても、簡単に済ませるよう

な状態でないっていうのは、ご本人も多分ご理解されていると思います。今後も、知事の口から、県民の皆さんに分かるように、発言していただければと思っています。

記者

今定例会の知事の答弁では、今、議長がおっしゃったような姿勢っていうのは見受けられたとお考えでしょうか。

焼田議長

最初は、アルバムの作成は機密費という説明でしたが、その後に、自民党の経費で作成ということでした。本人の記憶違いとのことですので、それはそれでいいのかなと思います。が、今後は、責任を持った発言をしていただきたいと思います。

記者

今の関連なんですけど、議会は2元代表制の一翼という立場から、説明責任も含めた知事の政治姿勢というのは、議長としては納得されたのでしょうか。

焼田議長

これまでの説明で、精一杯なのかなという気も致します。

記者

中には厳しく追及された議員もいましたし、擁護される議員もいて、県民の受け止めも多分様々だと思いますが、腑に落ちたか、落ちてないかというのと、どうでしょうか。

焼田議長

知事は、結構リップサービスも多い方ですし、記憶違いも多分あったんでしょう。そういう面ですら、色々と誤解を招くような発言になったのではないかと思います。

記者

知事のことについて、議長の支援者から何か問われることがありますか。

焼田議長

私の支援者の中にも、批判の声はございます。

記者

更なる丁寧な説明を求めていく必要があるというお話だったと思いますが、具体的にどういう部分の説明が、不足している点がありますでしょうか。

焼田議長

議会の中では一応答弁をされてますけど、正式な釈明会見は行われていませんので、そういったことも必要なのかなという気はします。

以 上